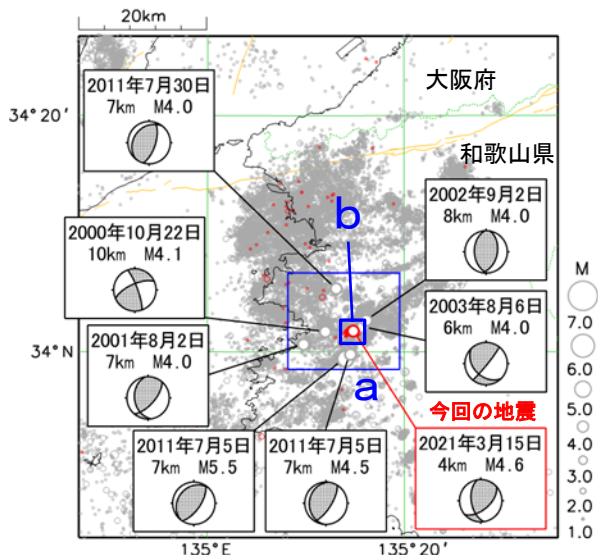


3月15日 和歌山県北部の地震

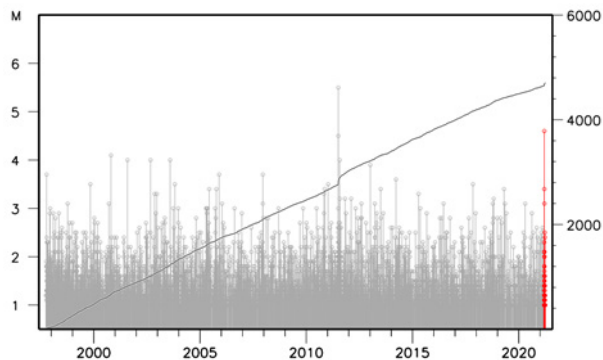
震央分布図

(1997年10月1日～2021年3月31日、
深さ0～20km、 $M \geq 1.0$)

2021年3月の地震を赤色で表示
橙色の線は地震調査研究推進本部の
長期評価による活断層を示す)

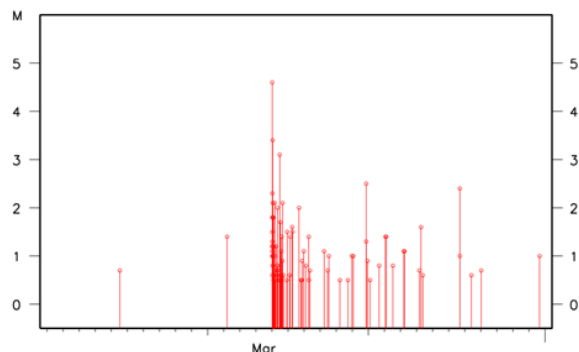


領域a内のM-T図及び回数積算図



領域b内のM-T図

(2021年3月1日～31日、 $M \geq 0.5$)



2021年3月15日00時25分に和歌山県北部の深さ4kmでM4.6の地震（最大震度5弱）が発生した。この地震は地殻内で発生し、発震機構は西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。今回の震源とほぼ同じ場所（領域b）では地震活動が活発となり、同日00時59分にM3.4、11時37分にM3.1の地震（共に最大震度3）が発生するなど、震度1以上を観測する地震が16回（31日24時現在）発生したが、活動は次第に減衰しつつある。

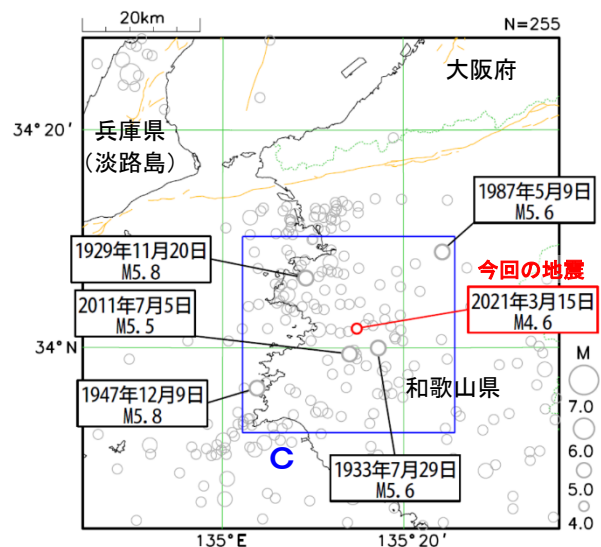
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域a）では、定常的な地震活動があり、M4.0程度の地震が時々発生しており、2011年7月5日にM5.5（最大震度5強）の地震が発生し、住家一部破損 21 棟などの被害が生じている（総務省消防庁による）。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M5.0を超える地震が時々発生しているが、M6.0を超える地震は発生していない。

震央分布図

(1919年1月1日～2021年3月31日、
深さ0～40km、 $M \geq 4.0$)

2021年3月の地震を赤色で表示
橙色の線は地震調査研究推進本部の
長期評価による活断層を示す)



領域c内のM-T図

